

## 令和4年度（2022年） 熊本市医師会看護専門学校 自己点検・自己評価

### 令和4年度熊本市医師会看護専門学校 自己点検・自己評価

当校は教育の質の維持・向上を目的として、教育活動・学校運営について評価を行い学校運営全体の課題を明確にし、組織的・継続的・発展的改善を図るために、自己点検・自己評価を実施しました。令和4年度評価結果及び今後の課題を公表します。

#### 評価結果と課題

評価のカテゴリーは9領域あり、「点検」は67項目（125点）について、3段階の評価尺度（3：当てはまる、2：やや当てはまる、1：当てはまらない）で評価しました。（表1）

3学科評価結果について、評価が高い領域：評価尺度平均2.5以上と、比較的评价が高い領域：評価尺度平均2.0以上2.5未満、評価が低い領域：評価尺度平均2.0未満とする。

学校全体（3学科）で評価が高い領域は「教育理念・教育目的（2.63）」、「教育目標（2.8）」、比較的评价が高い領域が「教育課程経営（2.43）」、「教授・学習・評価過程（2.2）」、「経営・管理過程（2.17）」、「入学（2.13）」、「卒業・就職・進学（2.2）」です。評価が低い領域は「地域社会・国際交流（1.87）」、「研究（1.63）」です。

評価が高い領域では、本校の学生便覧に教育理念・教育目的として「看護の実践者として地域の保健・医療・福祉に貢献できる」と明記している。本校の卒業生は県内・市内に9割近くが就職しており3学科とも地域医療に貢献しています。また、教育目標は入学時のオリエンテーションに提示し、学年末に各学生で自己評価する中で意識化し学生個々の目標の指針となっています。

教育課程経営では、教職員と学生が根拠をもって共通理解できるように教育活動をしています。特に教育計画において単位履修制の考え方や履修方法について学生に合わせた支援を心掛けており、学習における休学者・退学者は少ないです。

評価が2.0未満と低い領域では地域社会・国際交流がある。入学時から新型コロナウイルス感染症の影響で人との交流ができない状況が続いたことからこのような評価となったと考えます。今年度5類感染症となったことから地域の人々の交流がもてる機会を少しずつ計画したいと考えています。また、研究が低いままとなっているため教員の授業研究から始め教員のキャリアアップにつなげ、学校教育にフィードバックし、更なる教育の質向上に向けた取り組みを行いたいと考えています。

表1 3学科評価結果

	第1看護学科	第2看護学科	准看護科	平均
I 教育理念・目的	2.6	2.6	2.7	2.63
II 教育目標	2.7	2.8	2.9	2.8
III 教育課程経営	2.4	2.4	2.5	2.43
IV 教授・学習・評価過程	2.3	2.3	2.0	2.2
V 経営・管理過程	2.1	2.1	2.3	2.17
VI 入学	1.9	2.1	2.4	2.13
VII 卒業・就職・進学	2.0	2.1	2.5	2.2
VIII 地域社会・国際交流	1.7	1.8	2.1	1.87
IX 研究	1.1	1.7	2.1	1.63

【評価尺度】 3：当てはまる、2：やや当てはまる、1：当てはまらない